

先延ばしにしていますか？

食品の家庭備蓄のススメ



大きな災害は
ここには
起こらないで
しょ

災害が起こった地域の方は、『まさか自分の住む街で…』と、口をそろえて言われます。

近年では、豪雨や竜巻など、予想もしないことが起きています。特に、日本周辺には複数のプレートがあり、複雑な力がかかっているため、世界でも有数の地震多発地帯となっています。

いつ災害が起きてもあわてない備えをしましょう。

自治体で備蓄している食料品は、被害が大きく食料を確保できない方等への緊急かつ最低限の物資です。

災害の規模によっては、配給までに時間を要する可能性も大いにあります。

災害時の基本は**自助（自分で備える）**です。公助（自治体からの支援）が、本当に必要な方へ届けられるためにも、**個人の自助力が求められています。**

食べるものに
困ったら、
支援物資が
届くんじゃないの？



共助

近くの人と
お互い助け合う



自助

自分の身を
自分自身で守る



公助

公的機関が、個人や地域で
解決できない問題を解決する

**最低でも3日分、できるだけ1週間分の
食料品備蓄を備えましょう！！**

災害発生



ライフライン停止 約1日~7日



ライフライン復旧



備蓄って大変そう・・・と思う前に！！

いつも買っているものを、
少し多めに『買い置き』でいいんです♪

備蓄食品は、大きく分けて「非常食」と「日常食品」の2種類があります。

非常食

災害時の備えとして用意し
主に災害時に使用するもの



- 長期保存ができる！
- ライフラインが停止しても食べられる！

日常食品

日常から使用し、かつ、
災害時にも使用するもの



- 普段の食事に利用できる！
- いつもより多めに買うだけで備蓄になる！

日持ちのする日常食品を、常に在庫が数個ある状態をキープすると、いざというときの備蓄になります♪

ローリングストック法

